

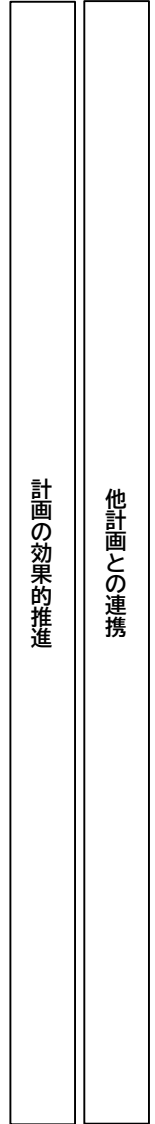
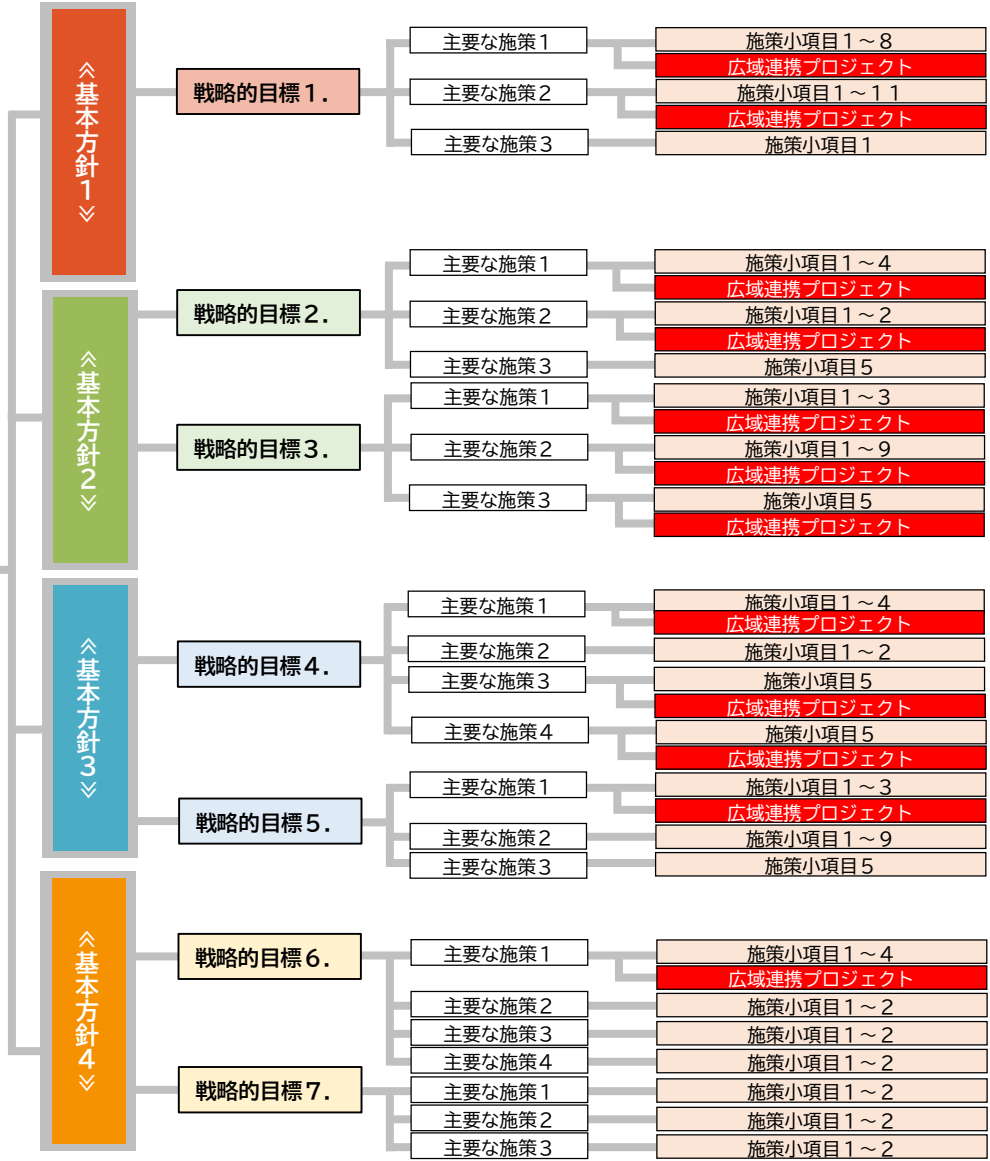
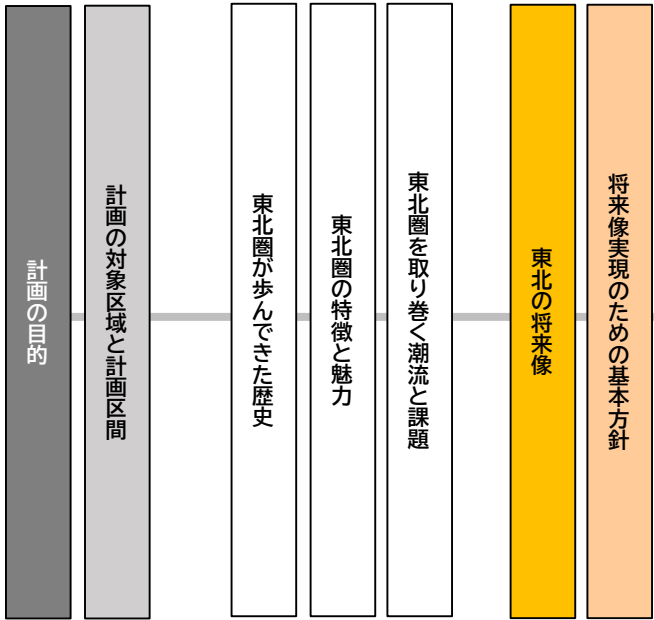
## 新たな東北圏広域地方計画の目次構成案

### (第1章～第3章)

### (第4章～第5章)

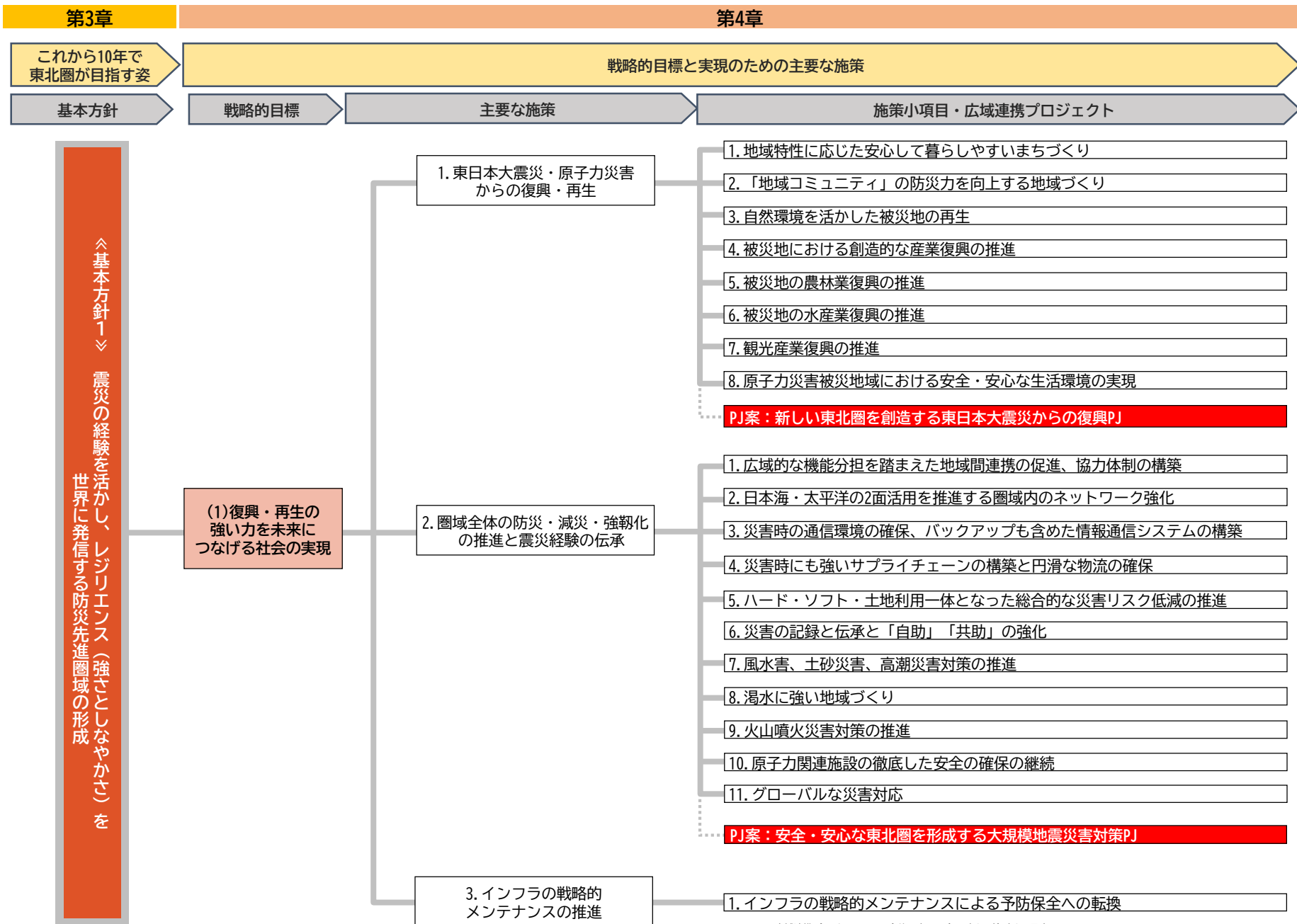
項目
<b>第1章 計画の目的</b>
第1節 計画の目的
第2節 計画の対象区域と計画期間等
1. 対象区域
2. 東北圏の位置づけ
3. 計画期間
<b>第2章 東北圏を取り巻く状況と地域特性</b>
第1節 東北圏が歩んできた歴史
第2節 東北圏の特徴と魅力
1. 広大な県土と豊かな自然環境
2. 広範囲に都市が分散する圏土構造
3. 気象、災害等の自然の驚異
4. 地域資源のポテンシャル
5. 先端産業拠点の整備進展
6. 特徴ある伝統芸能、文化、冬の魅力
第3節 東北圏を取り巻く潮流と課題
1. 東日本大震災からの復興・再生
2. 激甚化・頻発化する自然災害への対策の強化
3. 深刻な人口減少・少子高齢化に適應する地域の形成
4. 若年層・女性の転出を抑える誰もが活躍できる地域づくり
5. 豪雪地帯における克雪・利雪・親雪
6. 地域産業の衰退からの脱却、国際競争力のある産業の振興
7. コロナ禍で落ち込んだ交流人口の回復
8. デジタルトランスフォーメーション（DX）の遅れと成長の停滞からの脱却
9. 地球規模の環境問題への対応
10. 美しい圏土や歴史文化の保全と活用
11. 公共投資の重点化と効率化、民間活力の導入
<b>第3章 これから10年で東北圏が目指す姿</b>
第1節 東北圏の将来像
第2節 将来像実現のための方針
基本方針1. 震災の経験を活かし、レジリエンス（強さとしなやかさ）を世界に発信する防災先進圏域の形成
基本方針2. グリーンな国土づくりに挑戦する東北圏の形成
基本方針3. エネルギー・食料の自給力と産業の競争力を通した日本全体を牽引する東北圏の形成
基本方針4. 誰もが自己実現でき地方の先導モデルとなるデジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成

項目
<b>第4章 戦略的目標と実現のための主要な施策</b>
第1節 復興・再生の強い力を未来につなげる社会の実現
1. 東日本大震災・原子力災害からの復興・再生
2. 圏域全体の防災・減災・強靱化の推進と震災経験の伝承
3. インフラの戦略的メンテナンスの推進
第2節 美しい国土の保全と恵みある豊かな自然の継承と利活用
1. 地球環境保全に向けた地域循環共生圏の創造
2. 人と自然が育んだ美しい「森里川海」の原風景の継承
3. 陸域・海域の水環境の保全・再生と豊かな水の恵みの享受
第3節 雪との共生や新しい暮らしを可能にするコンパクトな圏域の実現
1. 冬に強く魅力的な地域づくりの推進
2. 「コンパクト+ネットワーク」による都市と農山漁村の共生
3. 遠隔医療等の新たな技術の展開による医療・福祉の更なる充実
第4節 豊かな地域資源の活用と先端産業の挑戦による国際競争力の強化
1. 国際競争力を持つ産業群及び先端産業拠点の形成
2. エネルギーの安定供給とカーボンニュートラルの両立への挑戦
3. 豊かな資源を活かした次世代の農林水産業の展開
4. 地球資源の付加価値を高め、新しい需要に対応した観光関連産業の拡大
第5節 交流・連携強化による世界とつながるネットワークの実現
1. 「日本海・太平洋2面活用型国土」の形成
2. 圏域全体の交流・連携を支える高速交通網の形成
3. 生活と産業を支える圏域内外を結ぶネットワークの形成
第6節 自分らしくチャレンジできる自立的な地域の実現
1. 東北圏の将来を担う次世代の多様な人材の育成と活用
2. 多様な主体の協働による地域運営の実現
3. 地域を支えるコミュニティの活性化
4. 圏民総活躍による地方創生
第7節 デジタルとリアル融合により人口減少に打ち克つ地域生活圏の形成
1. 地域が互いに支え合う広域連携の枠組みの構築
2. 地域生活圏を支える持続的なモビリティ社会の実現
3. 都市でも農山漁村でもデジタルで誰もが安心・便利な暮らしの実現
4. 官民パートナーシップによる持続可能な地域の実現
<b>第5章 計画の推進に向けて</b>
第1節 計画の効果的推進
1. 計画の推進
2. 重点的・効率的な施策の実施
3. 計画のフォローアップ
第2節 他計画との連携



※広域連携プロジェクトは、今後の意見照会を踏まえ検討する予定。  
 ※本体系に記載したプロジェクトは、現行計画に記載のあるプロジェクトを踏まえて記載した事務局案。

# 新たな東北圏広域地方計画 体系図 <基本方針1>



※広域連携プロジェクトは、今後の意見照会を踏まえ検討する予定。  
 ※本体系に記載したプロジェクトは、現行計画に記載のあるプロジェクトを踏まえて記載した事務局案。

## 第3章

## 第4章

これから10年で  
東北圏が目指す姿

戦略的目標と実現のための主要な施策

基本方針

戦略的目標

主要な施策

施策小項目・広域連携プロジェクト

基本方針2  
グリーンな国土づくりに挑戦する東北圏の形成

(1)美しい国土の  
保全と恵みある  
豊かな自然の  
継承と利活用

1. 地球環境保全に向けた地域循環  
共生圏の創造

1. 自立・分散型社会の構築
2. 環境負荷を低減する経済・社会構造への転換
3. カーボンニュートラルの実現に寄与する森林等の整備と活用
4. 有機資源の活用による循環型社会の構築

**PJ案：地球温暖化等にもない高まる自然災害リスクへの適応策PJ**  
**PJ案：東北圏のポテンシャルを活かした低炭素・循環型社会づくりPJ**

2. 人と自然が育んだ美しい「森  
里川海」の原風景の継承

1. 良好な景観の保全と創出
2. 美しい森林、田園、川や海辺風景の保全と継承

**PJ案：東北圏の自然環境の保全・継承PJ**

3. 陸域・海域の水環境の保全・  
再生と豊かな水の恵みの享受

1. 流域圏の貯留浸透・水源涵養機能保全、適切な地下水管理
2. おいしい水の供給とおいしい水辺空間創出
3. 総合的な土砂管理の取組の推進
4. 流域に着目した交流・連携
5. 海域の環境保全・再生・利用

(2)雪との共生や  
新しい暮らしを  
可能にするコンパクトな圏域の実現

1. 冬に強く魅力的な地域づくり  
の推進

1. 冬期間の安全・安心な交通ネットワークの確保
2. 冬期間の安全で快適な暮らしの確保
3. 雪の有効活用

**PJ案：雪国東北の暮らし向上PJ**

2. 「コンパクト+ネットワーク」  
による都市と農山漁村の共生

1. 東北発コンパクトシティの推進
2. 広域連携及び地域の生活を支える交通ネットワークの構築
3. 広域的な生活利便性の核となる中枢都市の形成
4. 都市と農山漁村の相互貢献を確立するスマートシティの構築
5. 中心市街地の活性化とウォーカブルなまちづくり
6. 彩り豊かな地域の個性を活かした魅力的なまちづくり
7. 「小さな拠点」の形成による暮らしやすい農山漁村づくり
8. 田園回帰を実現できる新しい働き方・暮らし方の推進
9. 条件不利地域への支援

**PJ案：東北圏における人口減少対策PJ**  
**PJ案：都市と農山漁村の連携・共生などによる持続可能な地域構造形成PJ**

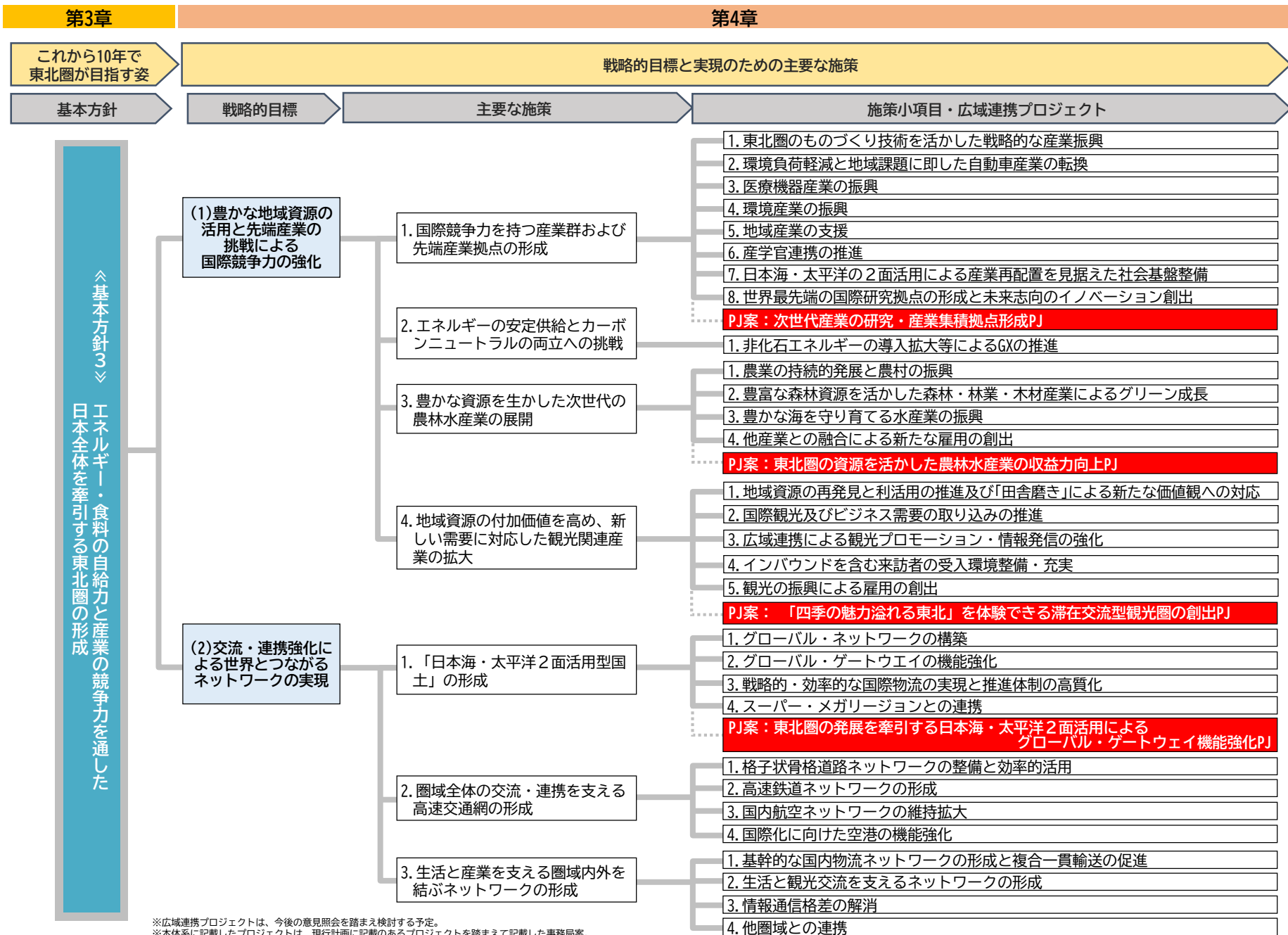
3. 遠隔医療等の新たな技術の展開  
による医療・福祉の更なる充実

1. 医療サービスの充実・先端技術の導入促進と救急対応の向上
2. 少子化及び高齢化等に対応した福祉サービスの充実
3. スマートウェルネス住宅・シティの実現
4. 災害時における医療体制の確保
5. 地域医療

**PJ6 東北圏の生活を支える地域医療支援PJ**

※広域連携プロジェクトは、今後の意見照会を踏まえ検討する予定。  
※本体系に記載したプロジェクトは、現行計画に記載のあるプロジェクトを踏まえて記載した事務局案。

# 新たな東北圏広域地方計画 体系図 <基本方針3>



※広域連携プロジェクトは、今後の意見照会を踏まえ検討する予定。  
 ※本体系に記載したプロジェクトは、現行計画に記載のあるプロジェクトを踏まえて記載した事務局案。

# 新たな東北圏広域地方計画 体系図 <基本方針4>

## 第3章

## 第4章

これから10年で  
東北圏が目指す姿

戦略的目標と実現のための主要な施策

基本方針

戦略的目標

主要な施策

施策小項目・広域連携プロジェクト

(1)自分らしく  
チャレンジできる  
自立的な地域の実現

1. 東北圏の将来を担う次世代の  
多様な人材の育成と活用

1. 震災の経験や教訓を活かした地域づくりの実行力を備えた人材の育成
2. 地域の産業を支える次世代かつ多様な人材の育成
3. 地域医療・福祉サービスを担う人材の育成
4. 地域の文化芸術、伝統技能を担う人材の育成
5. 外部人材等の活用と情報発信
6. 官民連携によるインフラを支える担い手の確保

..... **PJ案：「東北につぼん」を創造する多様な主体が連携・協働する地域づくり支援PJ**

2. 多様な主体の協働による地域  
運営の実現

1. 多様な主体の協働と連携による住民主体の地域運営社会の構築
2. 中間支援組織の育成
3. 地域づくりコンソーシアムの創出
4. 地域資源の再発見と地域づくり戦略の立案
5. 地域づくりに関する交流・連携
6. 地域づくり評価制度の充実
7. 協働によるインフラの効果的・効率的な運営・整備

3. 地域を支えるコミュニティの  
活性化

1. 共助社会を支えるコミュニティの活性化

4. 圏民総活躍による地方創生

1. 多様な働く場の創出によるUIターンへの促進
2. 多世代循環型地域の構築
3. 女性や若者の活躍を支える環境づくり

1. 地域が互いに支え合う広域連  
携の枠組みの構築

1. 東北圏のコンパクト+シームレスなネットワークの形成
2. 広域的な都市間連携のための枠組み構築

(2)デジタルとリアル  
の融合により  
人口減少に打ち克つ  
地域生活圏の形成

2. 地域生活圏を支える持続的な  
モビリティ社会の実現

1. 地域公共交通のり・デザインによる持続可能性の向上
2. 地域限定型の自動運転移動サービスの実現

3. 都市でも農山漁村でもデジタ  
ルで誰もが安心・便利な暮らし  
の実現

1. デジタル・ガバメントの推進
2. デジタル基盤の整備・活用
3. 都市・まちづくりのDXの推進
4. 地域医療を支える遠隔医療の推進
5. 暮らしと仕事を支える「デジ活」中山間地域の実現
6. 転職なき移住・二地域居住等の推進

4. 官民パートナーシップによる  
持続可能な地域の実現

1. 最適な圏土の利用・管理のための管理構想の策定
2. 人中心の多世代交流まちづくり
3. 官民パートナーシップによる地域経営主体の形成

「基本方針4」誰もが自己実現でき地方の先導モデルとなる  
デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成

※広域連携プロジェクトは、今後の意見照会を踏まえ検討する予定。  
※本体系に記載したプロジェクトは、現行計画に記載のあるプロジェクトを踏まえて記載した事務局案。